# 報告

## 北海道議会新庁舎の完全禁煙を求め要望書を手交しました！

地域医療部

令和２年５月末から利用が始まった道議会新庁舎に対する完全禁煙を求める当会の活動は北海道医報第1212号（令和元年９月１日）、同第1214号（同年11月１日）、同第1216号（令和２年１月１日）で報告いたしました。

道議会新庁舎における喫煙所設置の議論は新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着くまで先送りとなっておりますが、現在は屋内全面禁煙となっています。このような中、本年９月19日（土）、一部の道議会議員による道議会新庁舎内での喫煙に関する報道がありました。この報道を受け、同月23日（水）、当会は日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部と合同で緊急記者会見を開きました。本会見において当会・長瀬会長は「『北海道受動喫煙防止条例』が本年４月に施行されたばかりだが、道議会新庁舎内で一部の道議会議員が喫煙していたことに驚いている。緊急記者会見を行うことにしたのは、誰かが声を上げなければ道議会新庁舎内での喫煙を認めたと解釈されかねないと感じたためである。我々は医療団体として道民の健康を守る活動等を行っており昨年末、短期間で103,324筆の喫煙所設置反対署名を提出したばかりである。道議会議員も道民の健康を守るために尽力すべきであり、議会は良識を持った方々の集まりであると信じたい」と述べ、議会庁舎内を含む敷地内を全面禁煙とする要望書を北海道知事ならびに北海道議会議長に提出することを表明しました。

緊急記者会見（９月23日）の様子

要望書の手交に当たっては、当会・長瀬会長をはじめ日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部の廣田洋子副支部長、山本直也副支部長にも同席していただき、10月９日（金）に当会・日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部・日本禁煙学会北海道支部の三者連名で行いました。

当日は鈴木直道知事、村田憲俊道議会議長どちらも不在だったため、浦本元人副知事および近藤晃司道議会事務局長に手交し、浦本副知事は「道議会新庁舎内での喫煙に限らず法令を順守し、ルールに基づいて対応していくことが一番重要であると思っている。先日、知事も述べていたが健康増進法に基づく禁煙が徹底されていなかったことは残念である。今後は北海道議会の中でも法令順守しながら今後の対応について議論していただけるものと思っている」、近藤道議会事務局長は「要望書とご意見については議長だけではなく、副議長や各会派にも周知したいと思う。議会庁舎内の喫煙所設置については新型コロナウイルスが落ち着いてから議論することになるが、要望書の内容を参考にしながら検討することになると思う」と述べておりました。

喫煙報道後、道議会事務局は各議員に禁煙のチラシを配付するなど議会庁舎内禁煙の周知徹底を行い、村田道議会議長は自民党・道民会議と民主・道民連合に対して法令順守を徹底するよう口頭で注意しておりますが、喫煙所設置については依然として先送りの状況であることから、継続して今後の動向を注視いたします。会員各位におかれましては、引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。

要望書手交（浦本副知事）

要望書手交（近藤道議会事務局長）